

[第893回ゼミ報告] 2025年1月3日号

新しき年が明けた。昨年は年頭から地震が襲い、様々な災害あった。今年こそは、人々が喜び楽しみを分かち合える良い年であれと、年頭に願う…

1月25日のゼミは、佐々木隆治『マルクス資本論第3巻』第5章「利子と企業者利得(産業利潤または商業利潤)とへの利潤の分裂。利子生み資本」を小野さんの報告で行いました。利子生み資本は産業資本・商業資本へ資本を貸し出して収益を上げるだけで、实体经济を担わず、富を収奪して利益を上げる。利子生み資本が一般的な資本形態になるのは賃労働が社会的生産の一般的形態になっているかに依存していて、その価格は需要と供給によって確定される。利潤は利子と企業利得に分割され、一方は資本所有の果実として、他方は資本機能の果実として現れる。利子生み資本で最高度の生産諸関係の転倒と物象化が現れ、資本の物神的形象と資本物神の観念が完成し、産業・商業資本が従属する。株式会社は資本主義内部での資本主義的生産様式の止揚・再転化の通過点であり、労働者による協同組合工場内部で資本と労働の対立は止揚される。信用＝銀行システムは資本そのものを止揚する。討論では、エンゲルスへの苦言があるが、文章にするだけでもエンゲルスは精一杯だったのでは。銀行制度・信用制度へのマルクスの草稿が分かりにくいのでは。ここでは、信用制度・銀行制度ではなく利子生み資本を分析対象としている。レント資本主義の立場から書いている。

会場参加は小野さん・川口さん・山口さん・高田、オンライン参加は竹内さん・後藤さん・田中さん・井貝さんの合計8名の参加でした。

- * 1月8日(第4週)ゼミも、午後5時半(or 45分)から8時です。
 - ・オンライン接続情報は、後日に改めてお知らせします
- * 1月8日ゼミは、「小野満・新著『生産力、情報と地域、学びのダイナミズム-中小企業と市場からの視座』の感想・問答・議論・語る会」として、ゼミ参加者各人が10分、小野さんが回答5分で行い、その後構想・執筆などの日々、著書に込めた思いなどを小野さんから語っていただきます。参加者の皆さんへ：感想・質問・問題提起等、年頭からの準備よろしく
- * 『マルクス解体』は1月11日のゼミで終わりました。2月からの次のテキストの推薦をお願いいたします。
- * 『資本論第3巻』著者「佐々木隆治さんと議論する会」は3月26日(水)午後5時半～8時、オンライン併用で行います、所内の方々もどうぞ。

***** ゼミ日程 *****

- 1月8日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
小野満・新著『生産力、情報と地域・・・』の感想・問答・議論・語る会
- 1月22日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
佐々木『資本論第3巻』6章 超過利潤の地代への転化 報告：田中さん
- 2月12日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
(テキスト未定)

その後 2/26, 3/12, 3/26 [アイクルの部屋], 4/9, 4/23, 5/14, 5/28